

増田地区 交流センター通信

発行・編集：
横手市増田地区交流センター運営協議会
(増田地区多目的研修センター内)
TEL 0182-45-5556
FAX 0182-45-5560

今年の夏は猛暑日が続き、例年になく暑苦しい日に悩まされました。やっといつもの秋がやってきたように感じます。夏の疲れを残さないよう、おいしいものをたくさん食べて、乗り切っていきましょう。当地区交流センターも夏同様、楽しい事業を計画中です。みなさんのご参加をお待ちしております。

事業実施報告



6月24日(土)「横手市民大学講座」 (増田地区交流センター共催)

横手市主催、当地区交流センター共催により、“横手市民大学講座”が開催されました。「増田の発展と増田水力電気株式会社」をテーマに、多目的研修センターで近代産業発展の礎を築いた「松浦千代松」について学び、その足跡と関連個所を見学しました。



「増田水力電気株式会社」
跡地の見学

黒坂堰

松浦頼信君紀功碑

6月25日(日)「救急救命講習会」 (住民生活部)

横手市消防署員3人の講師による指導のもと、運営委員や運営委員が在住している集落の方々を対象に「普通救命講習Ⅰ」(心肺蘇生、AED止血法など)の講習会を行いました。参加者は、自分たちでできる救急救命の手順や行動等について、実技を交えた講習を熱心に受けておりました。



6月25日(日)～7月16日(日) “第54弾ミニ企画展「戸波展」” (文化部)

第54弾ミニ企画展～伝統を守り継ぐいにしへの里～「戸波展」を開催しました。増田町の中でも独自の文化を守り継いできた戸波集落にスポットを当て、史跡や伝統芸能、代々伝わる巻物、戸波橋についての話などを紹介しました。

地元の方も初めて知ったという展示物もあり、多くの方の好評を得た企画展となりました。



7月1日(土)「ホテル観察会」 (環境部)

毎年、狙半内地区小栗山地内を会場に開催している「ホテル観察会」ですが、今年は総勢56人の参加がありました。初めてホテルを見る方もおり、驚きと喜びの声が上がっていました。



7月2日(日)「地区交流センターまつり」 (企画・研修部)

新型コロナにより3年ぶりの開催となった「地区交流センターまつり」には約500人を超える方々が来場し、射的やくじ引きなど各ブースには、多くの人の行列が出来ていました。今回初めて“餅まき”も行い、大盛況でした。また、県の“地震体験車”も来館し、遊びながら地震の怖さを直に感じられた良い機会となりました。



7月12日(水)「ネットワーク会議」 (住民生活部)

増田地区の各集落の情報交換や共有及び交流活動等を図る目的で、令和2年10月に町内会代表者の皆さんにより「ネットワーク会議」が設立されて以来、新型コロナにより開催されていなかった会議でしたが、色々な情報や意見交換などがなされ、有意義な会議となりました。第2回目の会議は11月頃に開催する予定です。



7月28日(金)「YouTuberから学ぼう」 (4地区交流センター合同事業)

さまざまな情報を共有、発信できるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用して、増田のいいところをアピールしてはどうかと、美郷町出身のユーチューバー「じゃんご」氏を講師に招き、「YouTuberから学ぼう」と題して講演会を開催しました。「便利な時代になったな」と感心しつつ、「増田のいいところ」をみんなで発信出来たらいいですね。



7月30日(日)、8月27日(日)、9月24日

「エンジョイ事業(おやこラジオ体操)」 (スポーツ・レクリエーション部)

ほとんどの国民が知っているラジオ体操ですが、正しいラジオ体操を知って頂こうと3回にわたり開催しました。正しくラジオ体操を行うと結構汗をかきます。自分が覚えていたラジオ体操と違うところや、ラジオ体操は「準備運動」ではなく「主運動」であることを学び、これからの健康づくりに生かしてもらいたいと思いました。



8月15日(火)「増田盆おどり」 (増田地区交流センター後援)

増田盆おどり保存会の主催で3年ぶり「増田の盆おどり」が開催されました。歴史ある「増田の盆おどり」を何とか繋いでいきたいとの保存会の趣旨に賛同し、当地区交流センターもお手伝いさせていただきました。準備期間が短かったのですが、そこは“マンパワー”でカバーしました。福嶋サイサイのお囃子が鳴ると自然と体が動きますね!多くの方に参加していただき、楽しいひと時を過ごしました。



8月20日(日)「フリーマーケット in ますだ」 (企画・研修部)

「不要になったけどまだ使える!」「リメイクしたもの使って!」などの品物を個人の他、親子や友達と一緒に持ち寄って出展し、売買や交換などをして再利用を図る“フリーマーケット”を多目的研修センターを会場に開催しました。初めての開催でしたが、他市町村からの出展者もあり、交流も図れた楽しい企画となりました。今後も計画していきます。



9月7日(木)「視察研修会」 (企画・研修部)

当地区交流センター委員の視察研修会を開催しました。午前中に「石坂洋次郎文学記念館」を見学し、その後、横手市議会9月定例議会を傍聴しました。午後からは誘致企業「株式会社プレステージインターナショナル秋田BPO横手キャンパス」を見学してきました。普段は触れる機会の少ない議会の様子に緊張し、誘致企業では会社の仕事内容や施設などを案内していただき感心然り、有意義な研修を行うことができました。



9月11日(月)「秋田てんこ小豆伝承プロジェクト」

地域特産品開発につなげようとして取り組んだ「てんこ小豆」の栽培も収穫の時期を迎え、当日は、当交流センター運営委員と宮城学院女子大学の教授や学生、増田高校の生徒他、プロジェクトの会員含め約30人で「てんこ小豆」の収穫を行いました。その後、てんこ小豆の価値や希少性、生産の苦労などを学ぶ勉強会も行われ、今年の反省点を来年につなげようとして意見交換も行われました。今回、収穫した「てんこ小豆」は販売予定です。お楽しみに!



“令和5年度秋田県環境大賞(秋田県知事表彰)” 受賞!!

当地区交流センター運営協議会 環境部長

(秋田県森林インストラクター会会長)

酒井 浩 氏

「子どもたちにもっと自然体験を」「もっと里山の活用を」と子どもたちに地域の自然に親しんでもらうことを目的に、20年以上横手市増田地区を拠点に里山や自然生物の観察会などを行ってきた活動が認められ、このたび“令和5年度秋田県環境大賞(秋田県知事表彰)”を個人部門で受賞しました。おめでとうございます!